

Minami Honmoku Pier

横浜港(南本牧)



PORT OF YOKOHAMA

横浜市港湾局

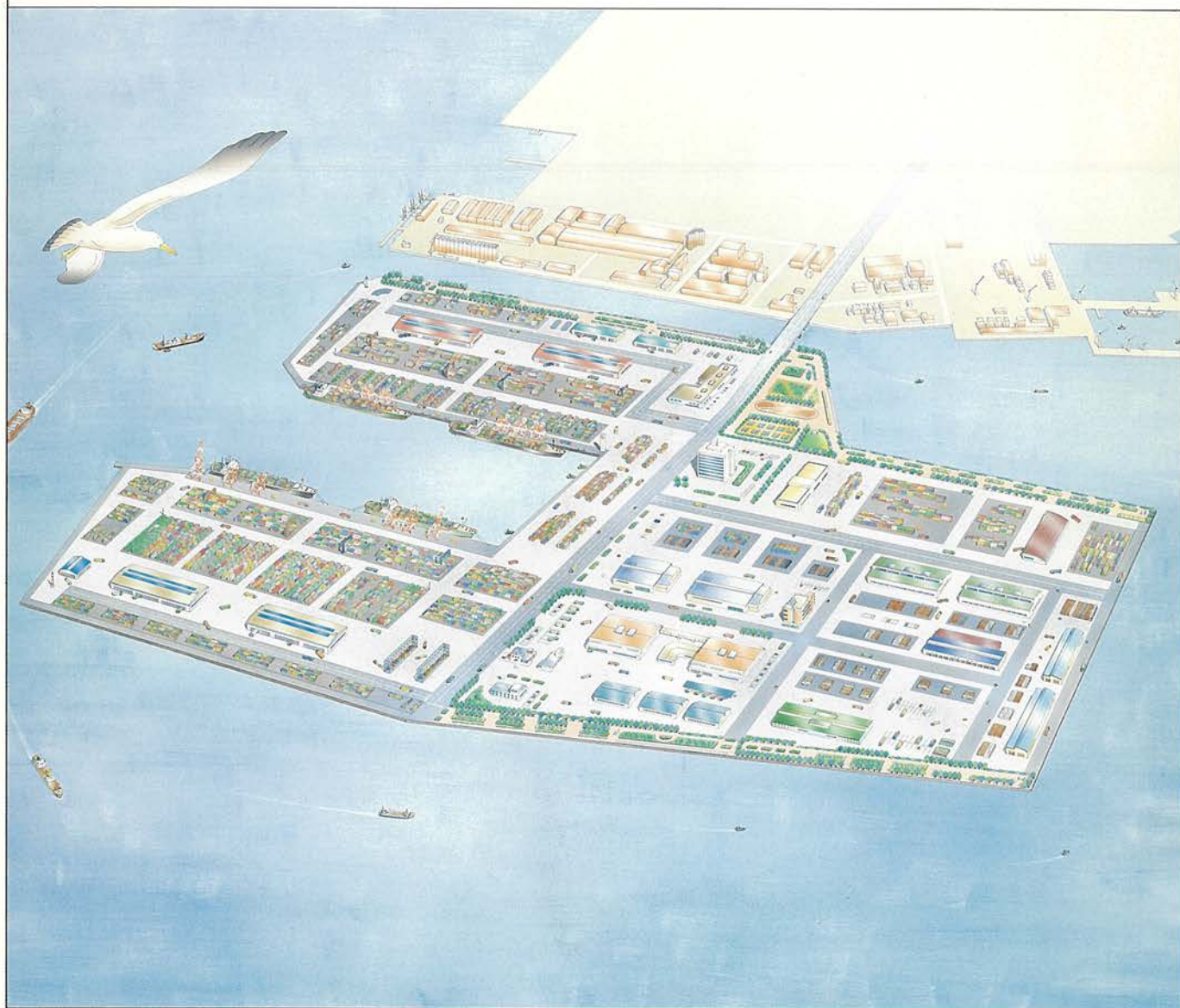
Minami Honmoku Pier



01

南本牧ふ頭鳥瞰図

南本牧ふ頭地区は、増大する貨物量及び、超大型コンテナ船に対応した-15mの大水深、超大型コンテナバース4バースを中心として、航空貨物を扱う航空貨物ターミナル等、海・陸・空一体となった複合流通ターミナルの創出を目指しています。



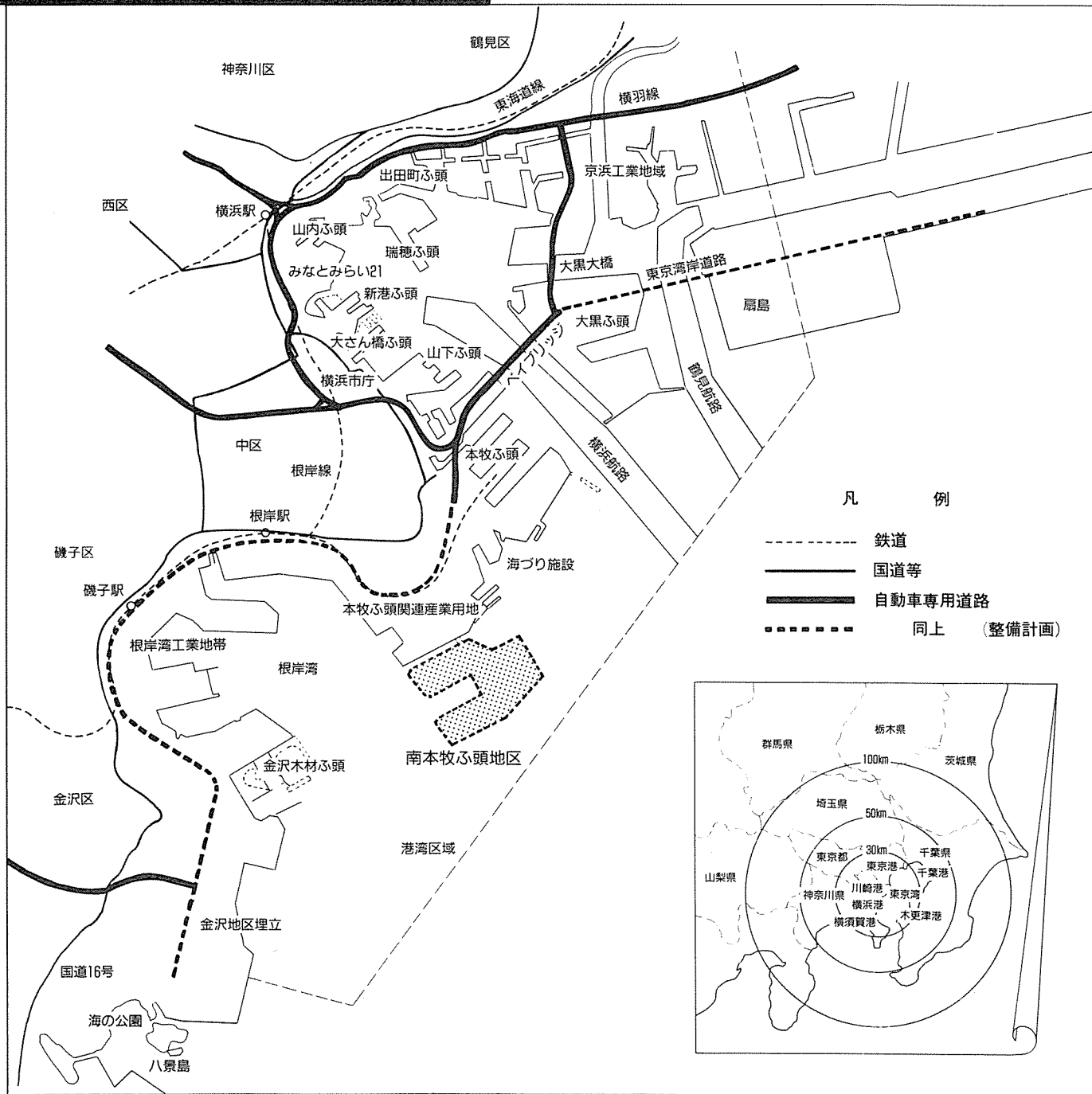
Minami Honmoku Pier



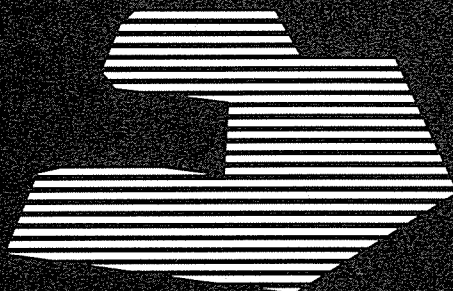
02

建設位置図

21世紀に向けた、効率的な総合物流港湾の形成を図るため、南本牧ふ頭は既存の本牧ふ頭、大黒ふ頭に近く、将来の広域幹線道路となる東京湾岸道路へのアクセスのよい中区に位置する本牧ふ頭関連産業用地の沖合に建設します。



Minami Honmoku Pier



03

土地利用計画

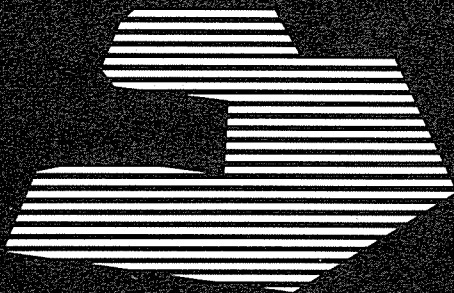
土地利用	面積ha(%)	施設内容
ふ頭用地	56.0ha (25.8%)	コンテナターミナル ●岸壁 水深:15m 延長:350m×4 対象船型:6万D/W ●コンテナヤード
港湾関連用地	134.2ha (61.9%)	コンテナ関連用地 ●バンパール ●リースコンテナプール ●シャーシプール等 保管施設用地 ●倉庫等
緑地	20.8ha (9.6%)	複合流通ターミナル用地 ●般空貨物ターミナル ●流通倉庫・流通加工基地 業務用地 ●業務施設 ●福利厚生施設 道路用地
交通機能用地	5.9ha (2.7%)	道路用地
合計	216.9ha	



凡例

区分	面積
ふ頭用地	56.0ha
港湾関連用地	134.2ha
緑地	20.8ha
交通機能用地	5.9ha
計	216.9ha

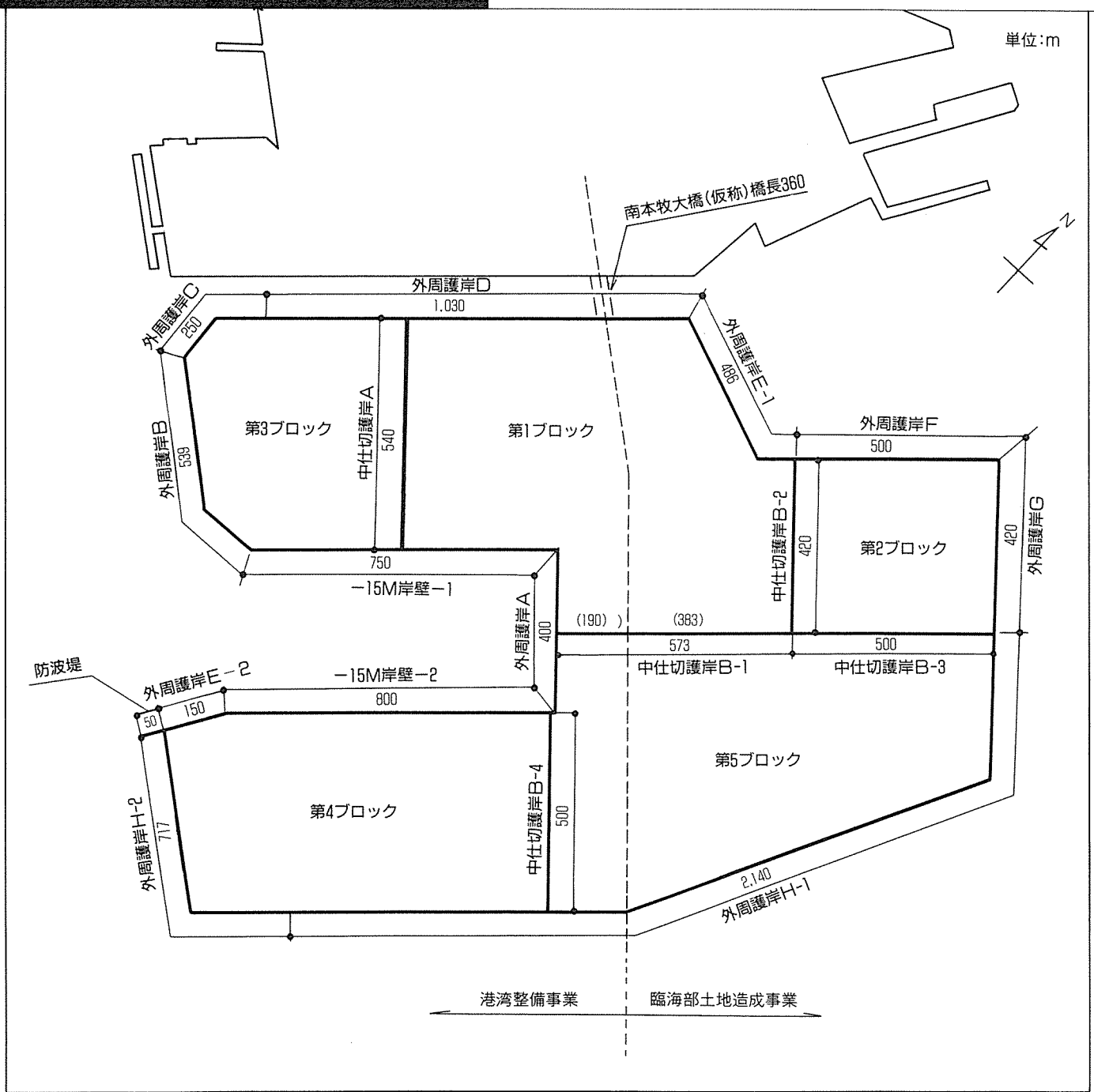
Minami Honmoku Pier



04

南本牧ふ頭地区埋立護岸建設位置図

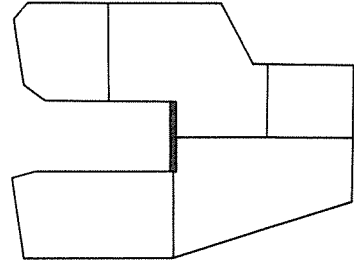
南本牧ふ頭は、既存埋立地である中区豊浦町護岸先100mの地区に5ブロックに分割し、順次埋立ていきます。なお、第2ブロックは一般廃棄物及び産業廃棄物を受入れることになっています。



Minami Honmoku Pier

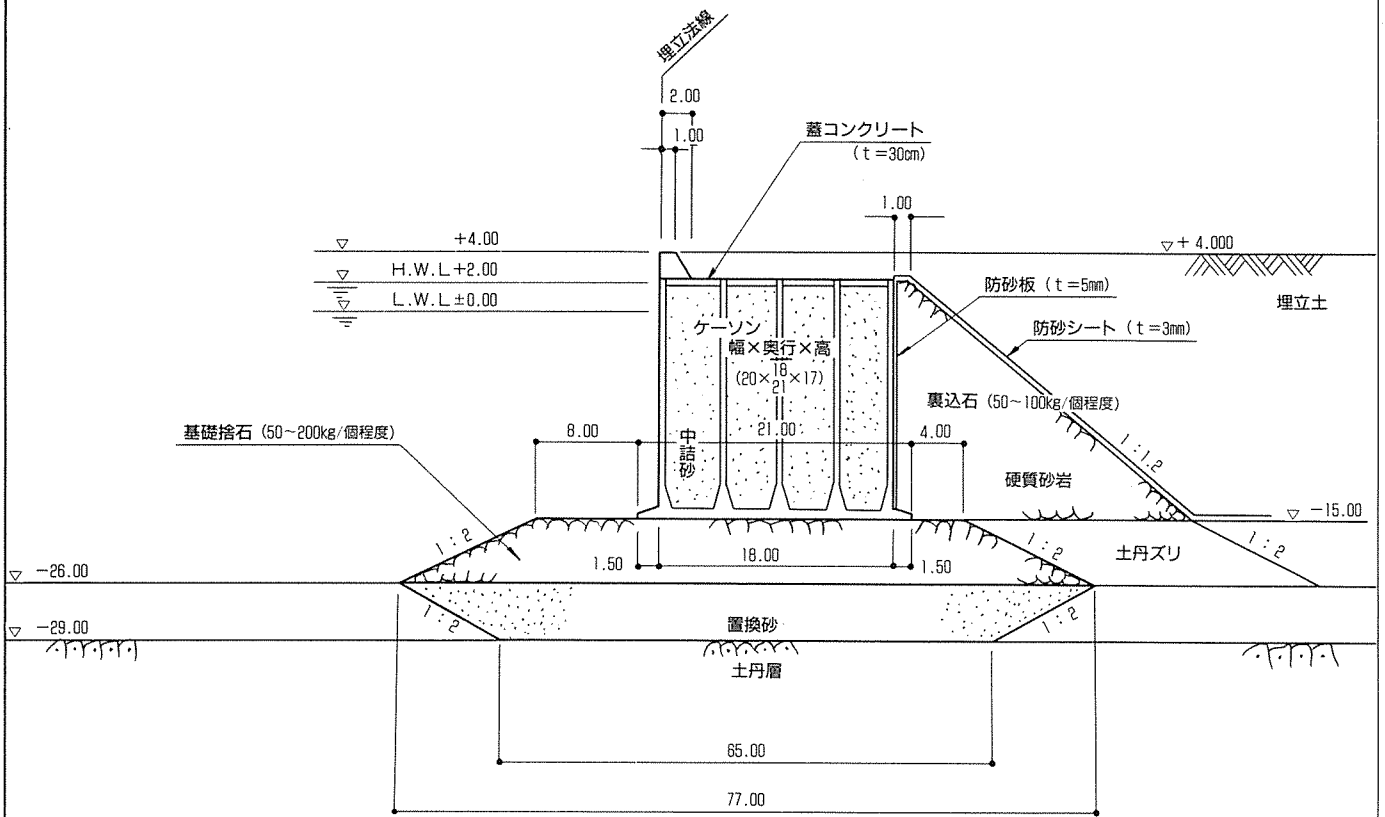
06

外周護岸A(第1,5ブロック)



標準断面図

単位:m

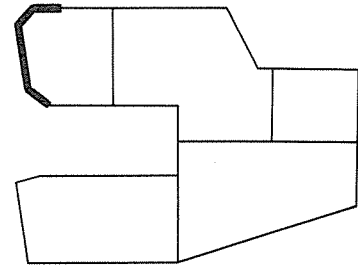


Minami Honmoku Pier



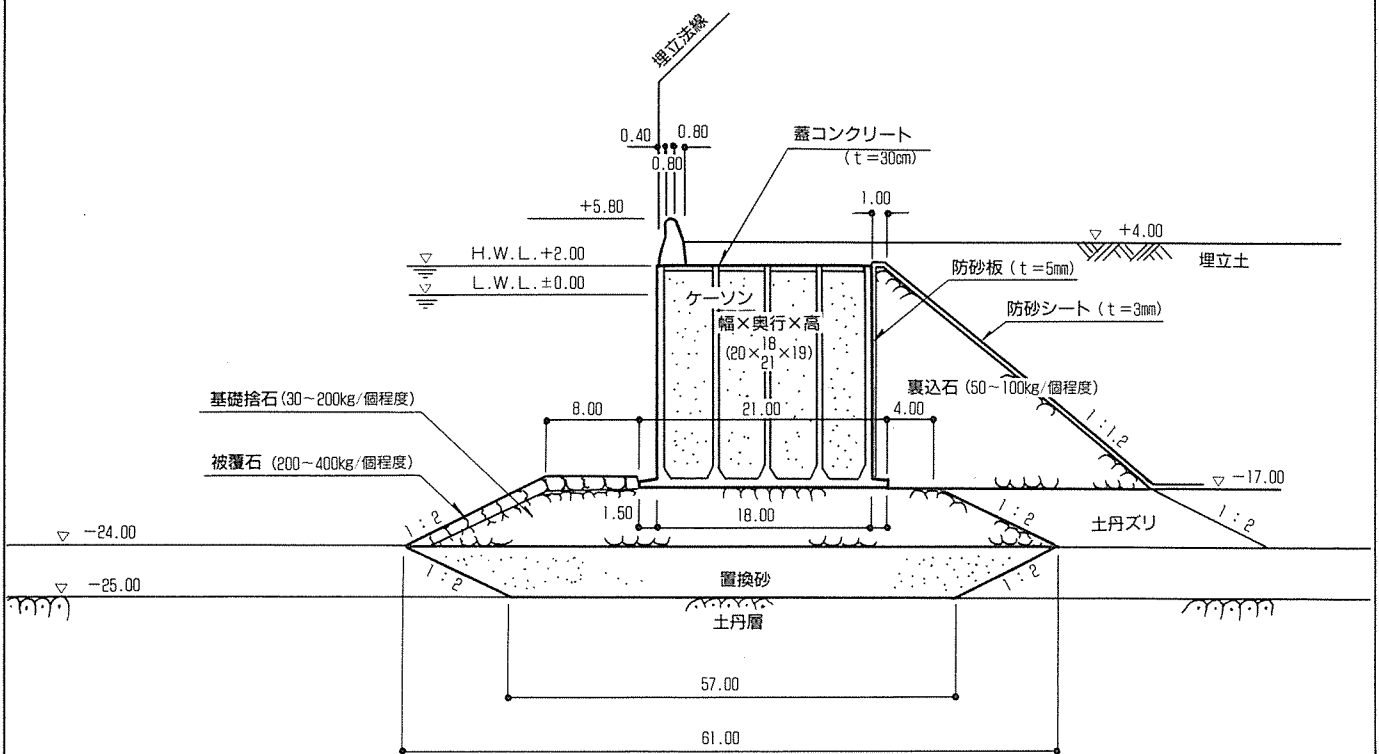
07

外周護岸B、C (第3ブロック)



標準断面図

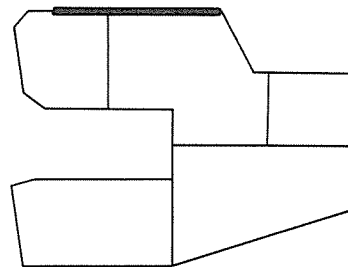
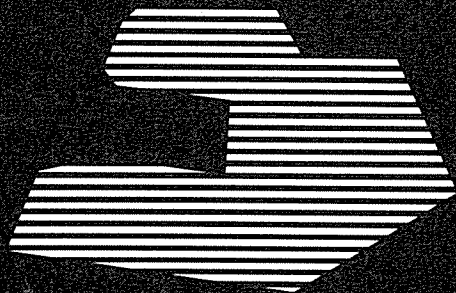
単位:m



Minami Honmoku Pier

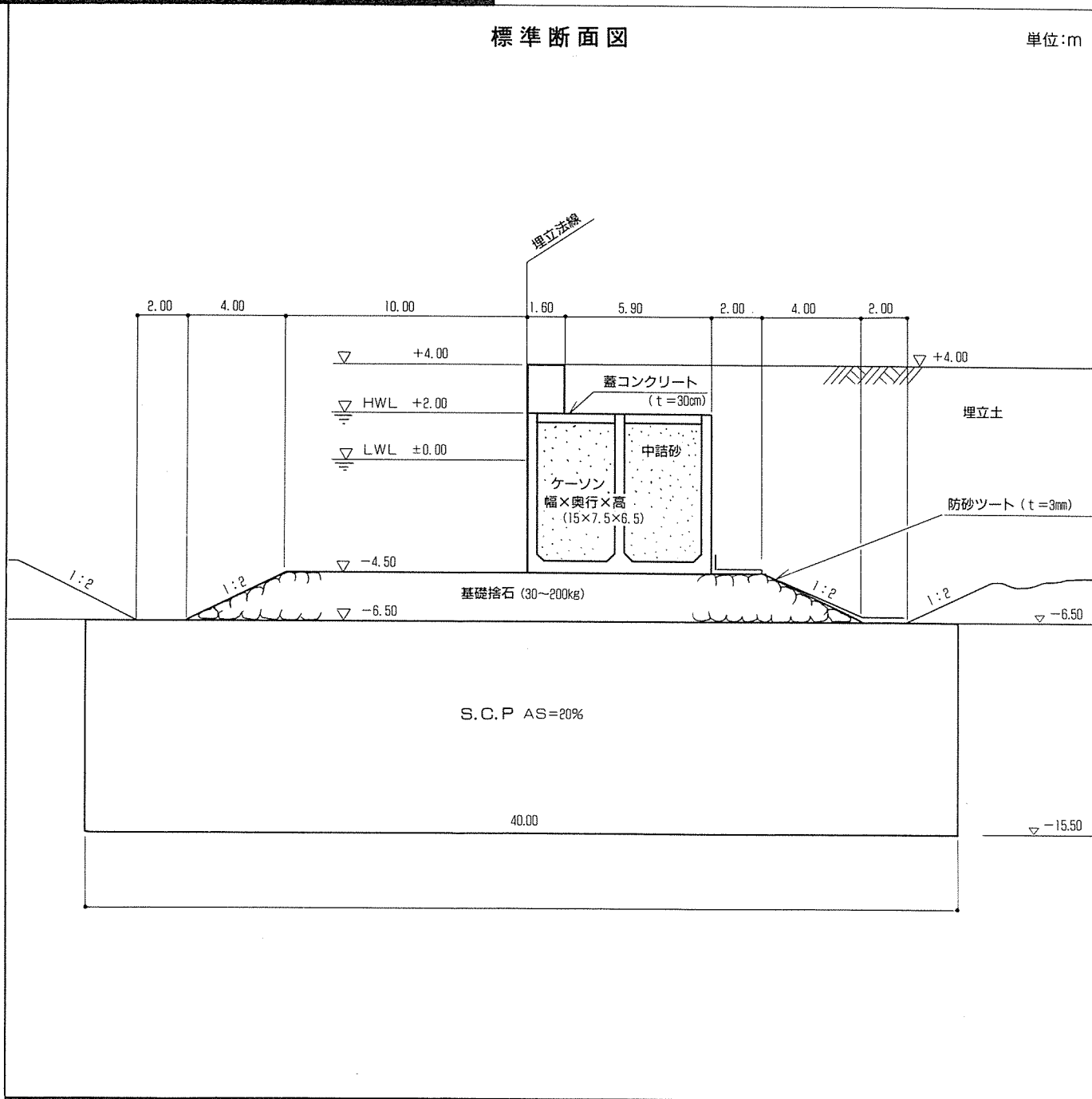
08

外周護岸口 (第1、3ブロック)



標準断面図

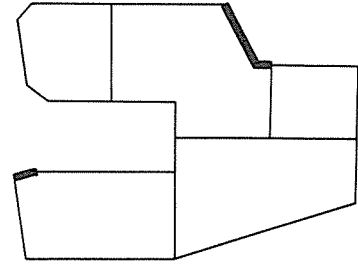
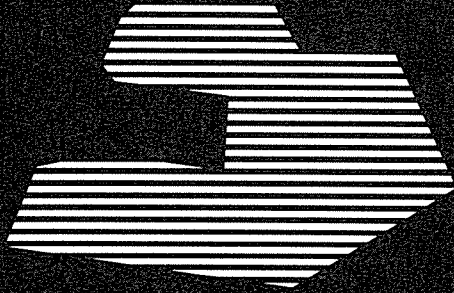
単位:m



Minami Honmoku Pier

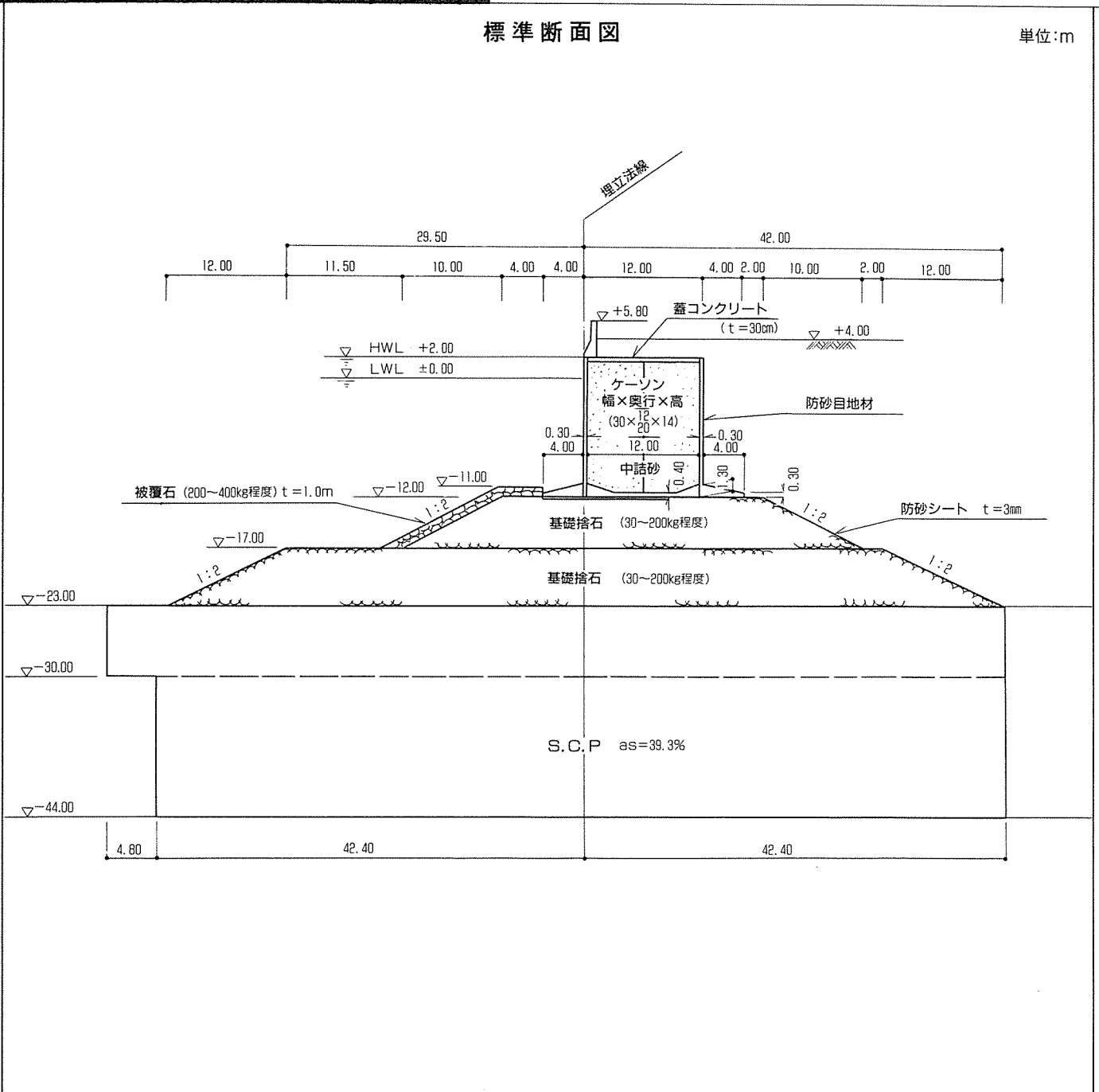
09

外周護岸 E-1、E-2 (第1、4ブロック)



標準断面図

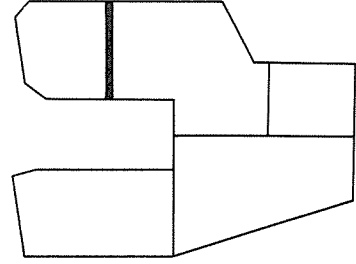
単位:m



Minami Honmoku Pier

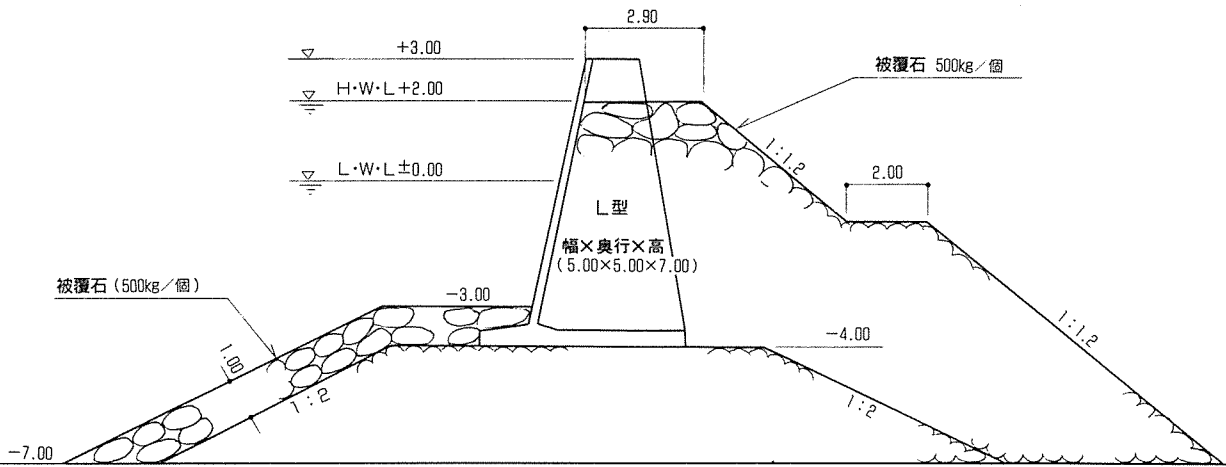
12

中仕切護岸A



標準断面図

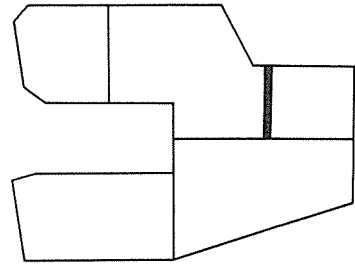
単位:m



Minami Honmoku Pier

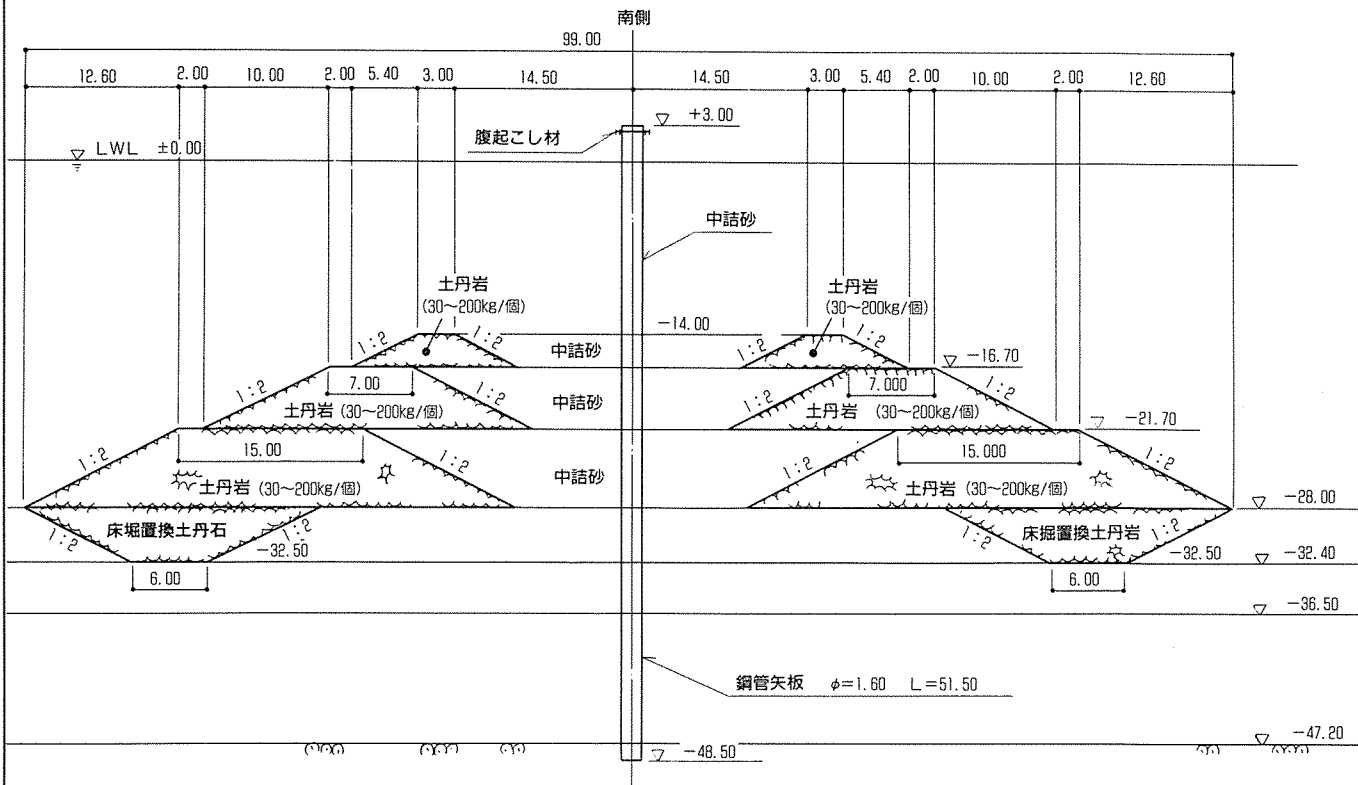
13

中仕切護岸 B-2



標準断面図

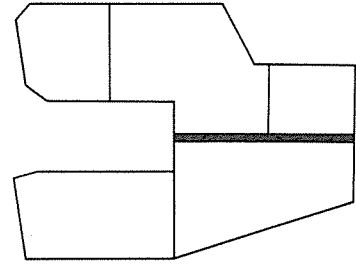
単位:m



Minami Honmoku Pier

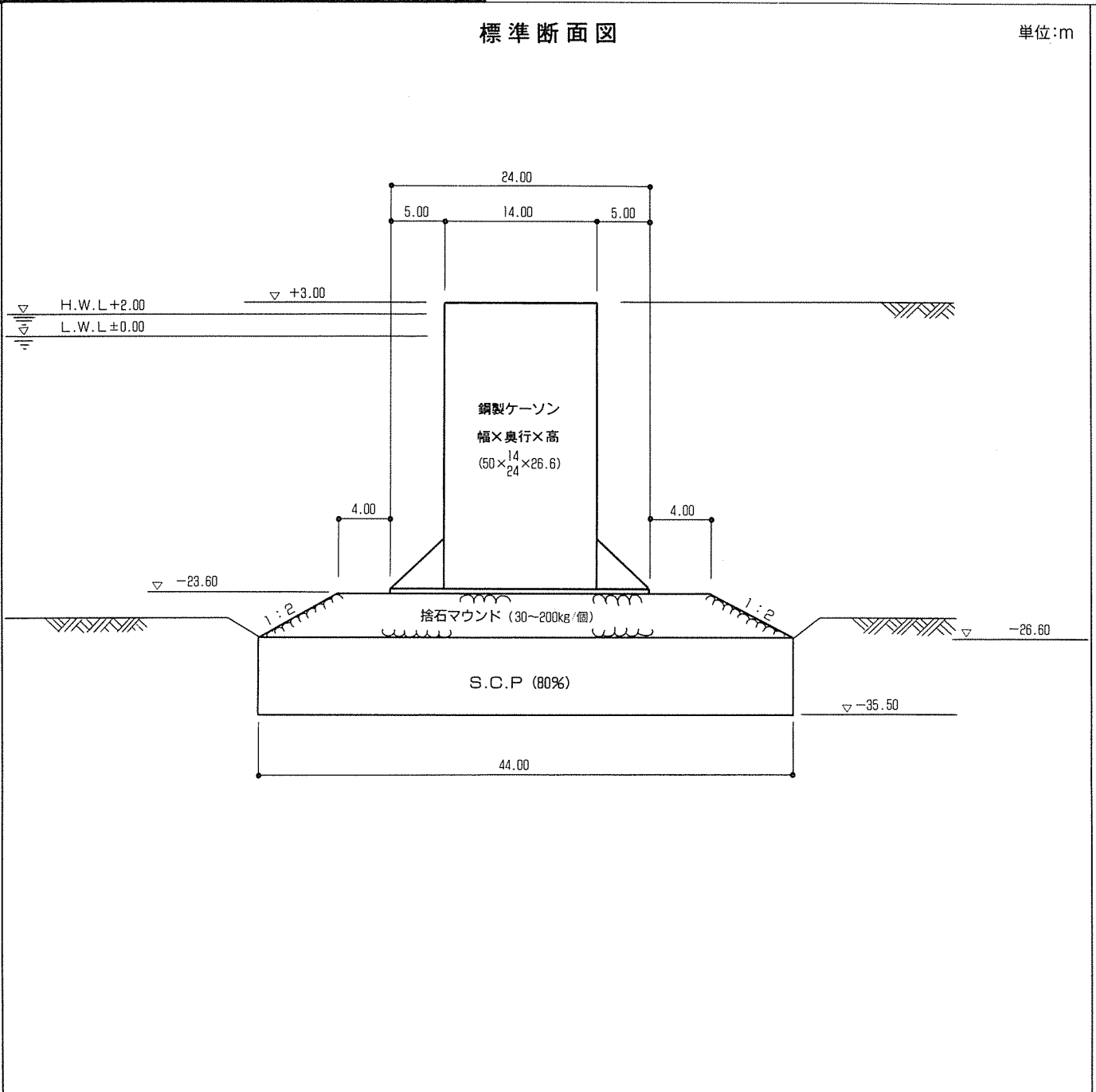
14

中仕切護岸B-1、B-3



標準断面図

単位:m



Minami Honmoku Pier



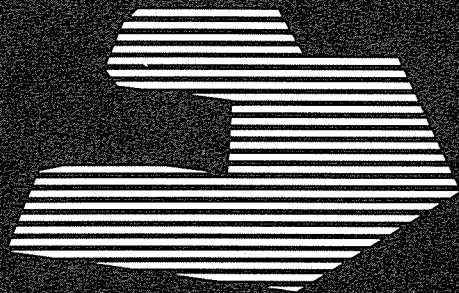
15

概略埋立工程表

基本的には地盤改良、基礎工、本体工という順序で第1ブロックから順次埋立てを行います。公共残土等の受入れは平成3年秋、また、一般廃棄物、産業廃棄物を第2ブロックに平成5年度より受入れを開始します。

ブロック分割	平成2年度	平成3年度	平成4年度
平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
平成9年度	平成11年度	平成12年度	凡 例 ----- 地盤改良工 _____ 基礎工 _____ 本体工 [stippled] 埋立用材

Minami Honmoku Pier

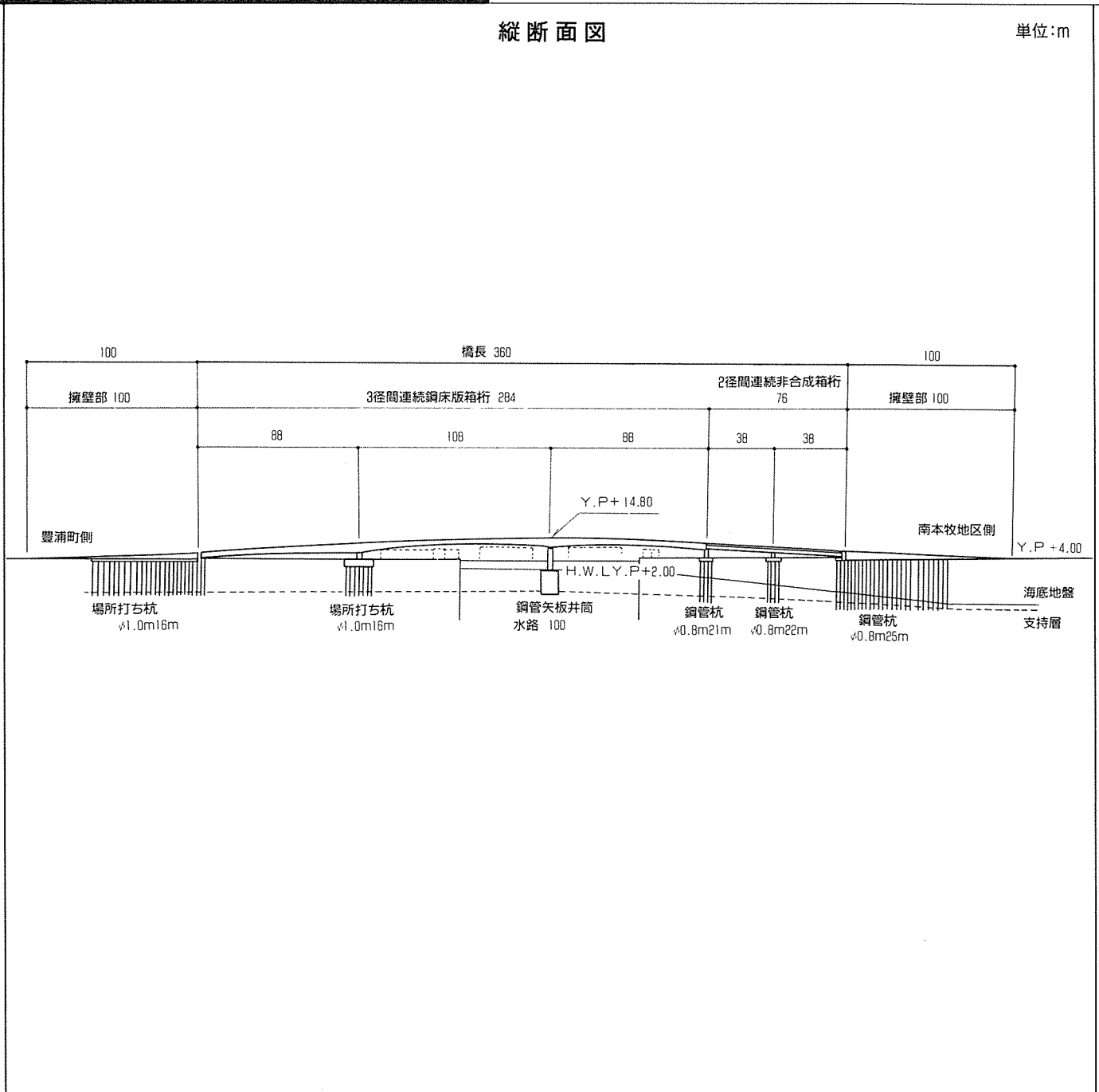


16

南本牧大橋(仮称)

縦断面図

単位:m



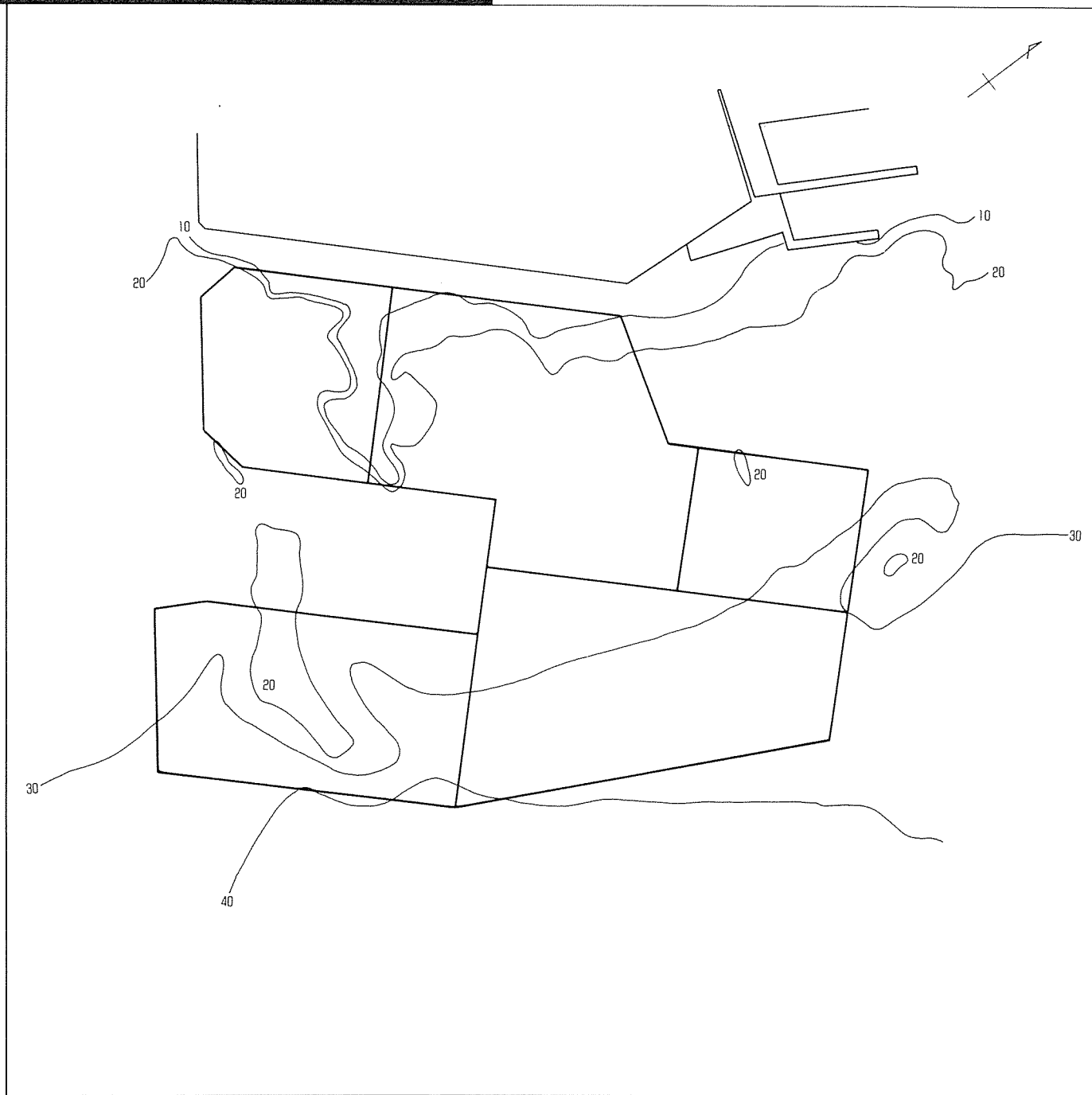
Minami Honmoku Pier



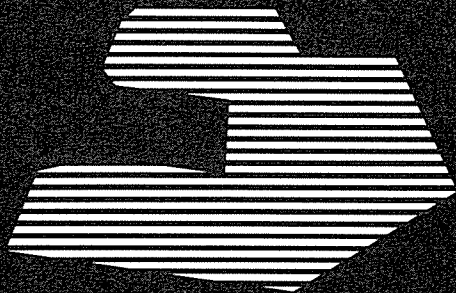
17

等水深線図

南本牧ふ頭の海底地形は起伏に富む複雑な地形です。また、既設護岸から沖側200mの間は、勾配約1/10の勾配で水深-20mに達し、その後約1/90の勾配が続き、沖側先端の埋立護岸の平均水深は概ね-40mになります。



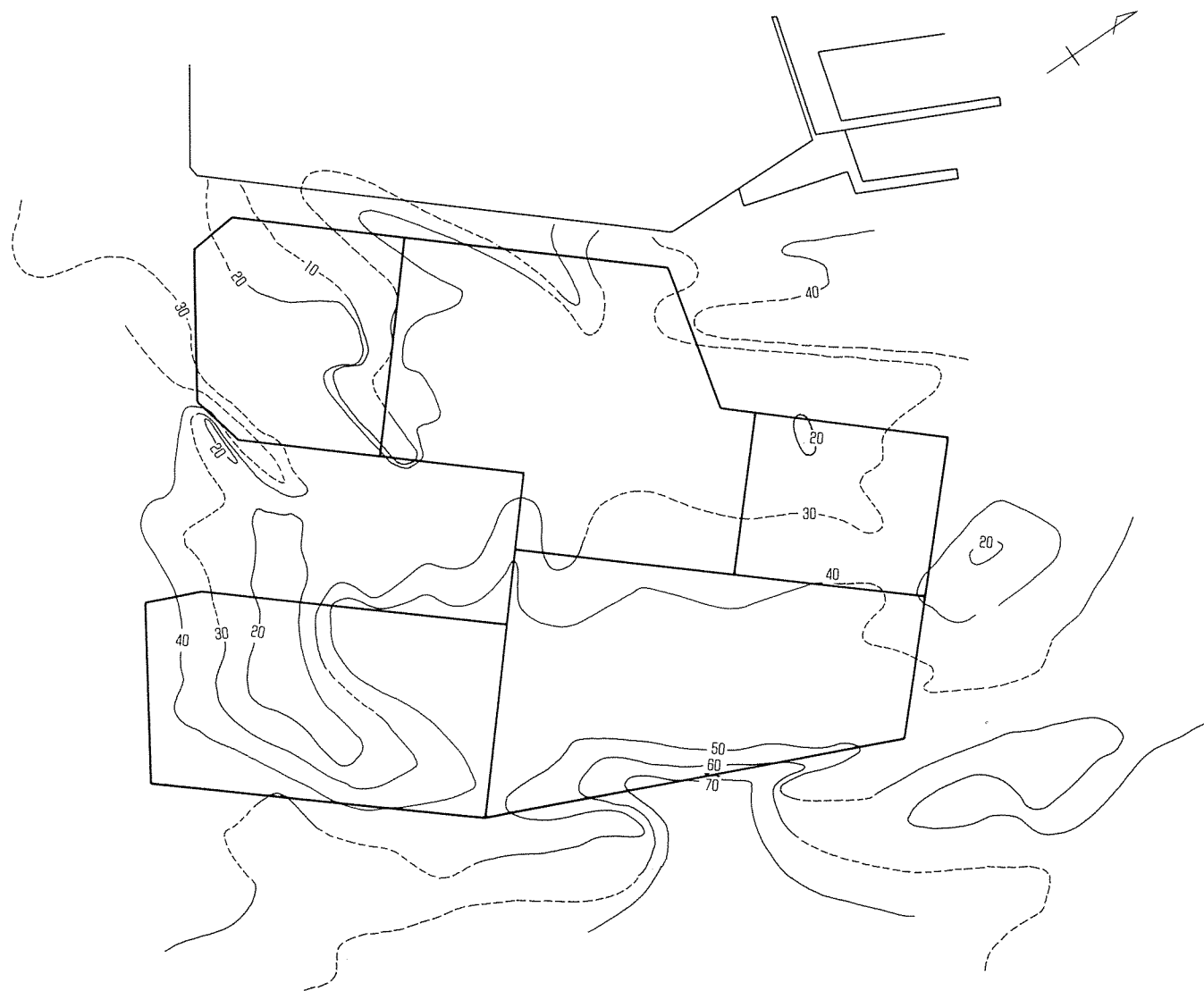
Minami Honmoku Pier



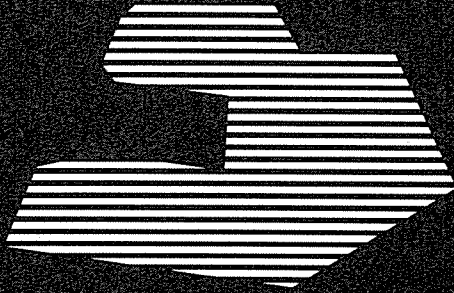
18

基盤層上面等深線図

南本牧ふ頭地区の海底の底質は、軟弱なシルト層が厚く堆積しています。特に水深-30m以深の沖側に向かう海底の大部分は、泥土で占められ、最大30m以上もの泥土堆積となっています。



Minami Honmoku Pier

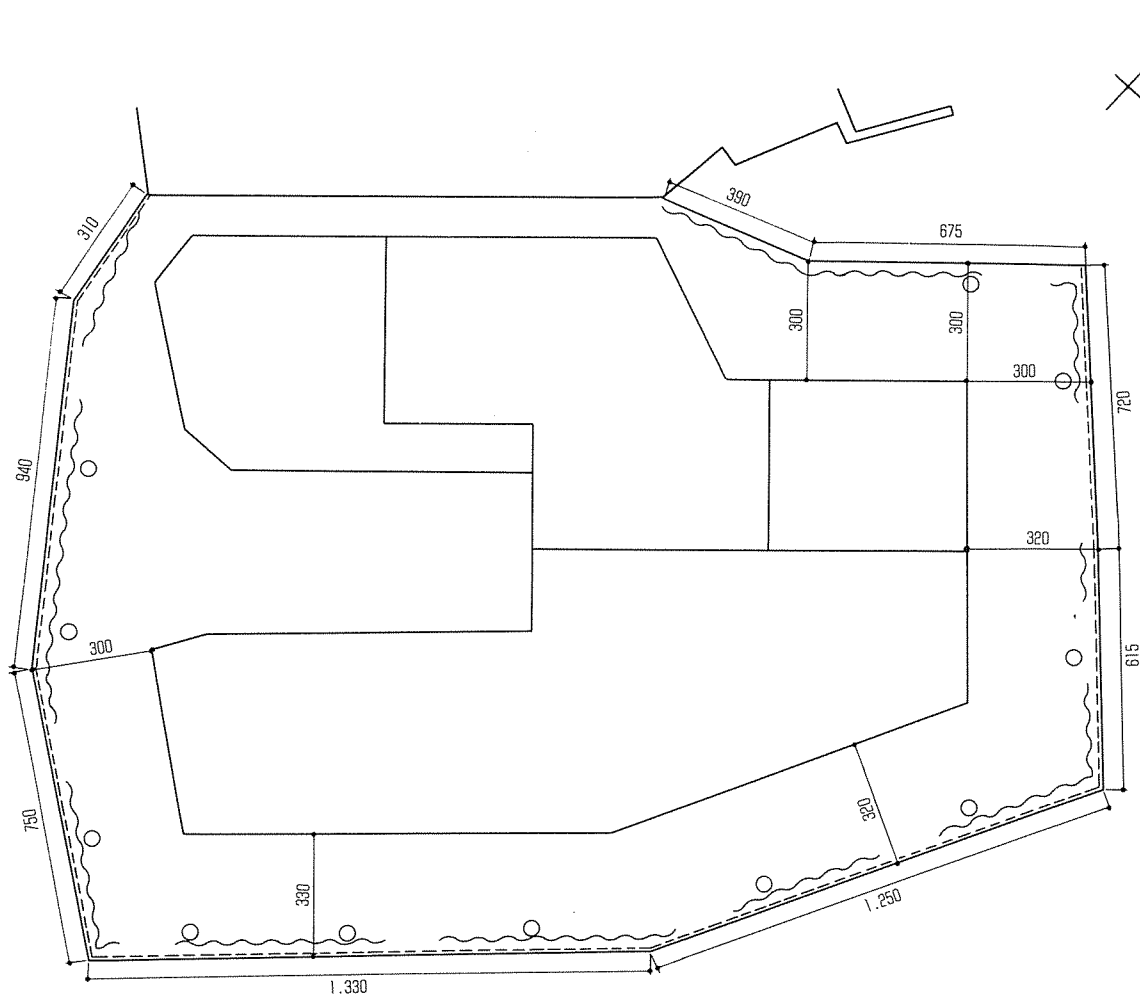


19

工事区域の設定

沖側の護岸建設には、大水深、超軟弱地盤という物理的なハードルをクリアしなければなりません。また、早期に地盤改良等を行う必要があります。反面既存護岸側は、公共残土等の早期受入れの為に工事を進めなければなりません。よって、工事区域は埋立地域全体を覆うこととなります。

(平成3年5月現在)
単位:m



凡 例

- 施工区域
- ~~~~ 汚濁防止膜 (垂下式)
- - - - " (沈設式)
- 固定式測量樁

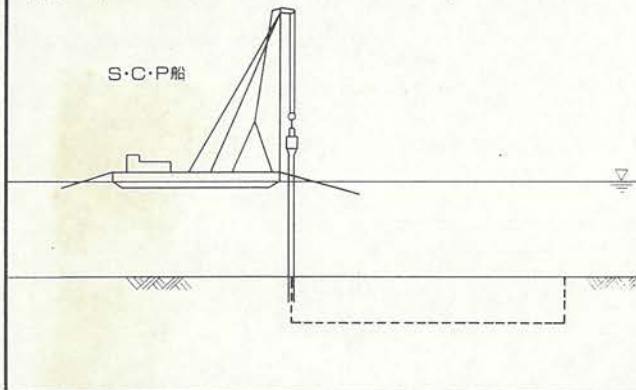
Minami Honmoku Pier

20

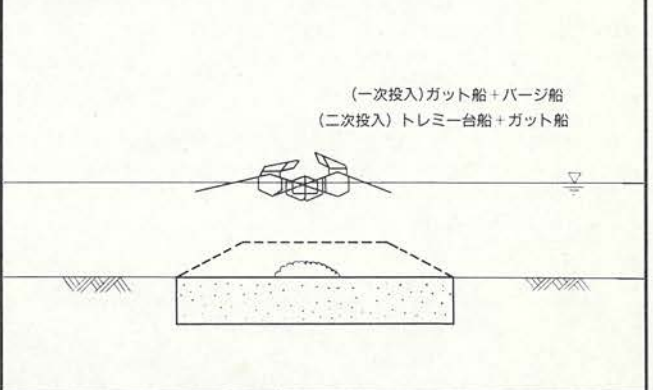
施工方法(代表的な例)



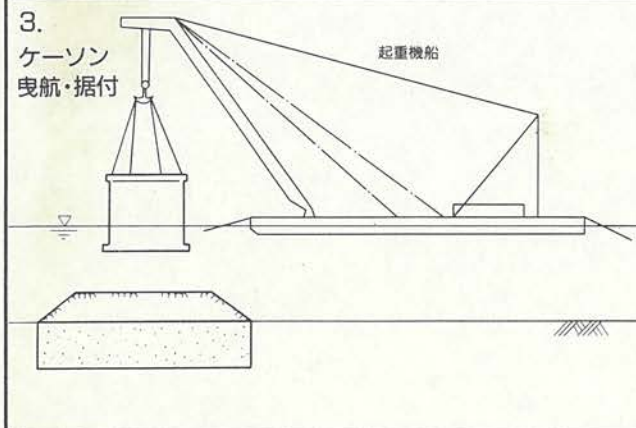
1. サンドコンパクション



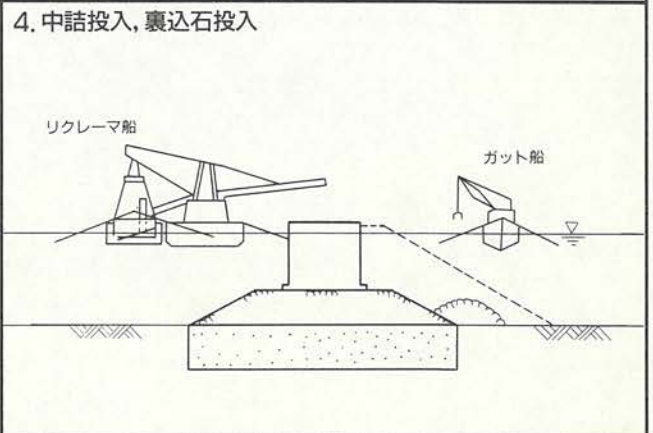
2. 基礎捨石投入



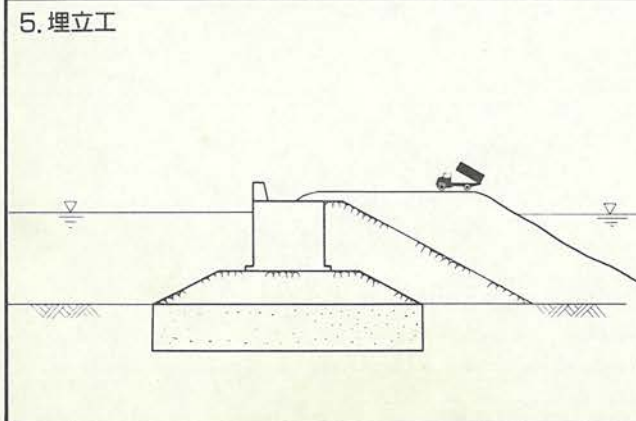
3. ケーソン
曳航・据付



4. 中詰投入, 裏込石投入



5. 埋立工



6. 完成

